



議会だより

# いすかす

82号

発行・登別市議会／編集・議会だより編集委員会／発行日・2016.5.1

登別市議会

で

検索

市議会ホームページで、本会議などの生中継と過去の議会映像をご覧いただけます



## 一般質問 議員11名が 市政を問う

平成28年第1回定例会

それにもかかわらず、今回の土壌汚染が判明し、低湿地の多い本市には、ほかに土壌汚染が潜んでいるのではと心配の聲が上がります。

また、今回土壌汚染が明らかになった土地は、小さな子どもたちがはだして園庭を走り回ったり、ミニプールで夏のひとときを過ごす栄町保育所の移転予定地でもあります。

このことから、汚染された土地に、市民が生活する保育所・団地を建設するべきではないと要望しました。



安心できる  
市民生活のために  
渡辺 勉

市営住宅（千代の台団地）建替用地の土壌調査で、地下に基準値の4倍強のフッ素と2

倍強のヒ素が検出されました。

本市では、平成26年にも緑町1丁目の土壌汚染が判明しており、同年第2回定例会の一般質問で、市に対し全市的な調査を求めましたが、市は「ほかに汚染が明確な土地はない」との考えから調査には至りませんでした。



登別市における  
子育て支援について  
井野 正臣

市政執行方針「誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり」に

おける子育て施策について、「（仮称）2016登別市幼児教育・保育アクションプログラム」の特徴と進捗状況をたどりました。

本プログラムは、本市独自のプログラムであり、子ども一人ひとりに目を向けるため、「（仮称）学び・育ちシート」を活用する予定です。

進捗状況としては、4月からの開始を目指し、プログラムの内容確認・具体的運用などについて、各保育所・幼稚園の意思統一と保護者の理解を得ながら進めていくとの答弁でした。

また、栄町保育所を民営化し、移転改装して認定子ども園とすることについては、消費税増税の先延ばしにより財源確保が難しくなったことや、移転予定地の土壌調査のため延期されることが示されました。